

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業の内容	事業費	交付金充当額	本事業における重要業績評価指標（KPI）			本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価	事業担当課
						指標	目標値		実績値	事業効果		
1	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティブロモーション事業	「『恋人の聖地』を有する市町村である」という縁を活用し、シティブロモーションを共通のテーマとして、「恋人の聖地観光協会市町村長会」加入の市町村のうち、広域連携によるデジタル・シティブロモーションによる地方創生事業に賛同する18市町村が連携し、次の事業を実施する。 （１－１）広域市町村連携シティブロモーション事業（SNS等の活用のためのポータルサイト等の基盤整備事業） 18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備する。 （１－２）各市町村の連携シティブロモーション事業 参画市町村は独自のシティブロモーションを実施し、18市町村が連携を図る。 （２）地域産業拡大事業 各市町村域（農林水産・観光）のデジタル情報価値（バリエーション・魅力）を高めるとともに、ソフト系コンテンツを開発する。各市町村がモニュメント整備、回遊プラン整備、イベント等を通して恋人の聖地をはじめとする地域の魅力を向上させる。 （３）情報ネットワーク・地域活性化事業 デジタル・シティブロモーション事業部会設立による市町村間の実施事業の共有、連携プロモーション等の実施とともに、各地域において事業者・市民・学生も巻き込んだ「地方創生」を実現するための啓発事業を実施する。	(1-1)SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業 5,000,000円 ●共同PR・プロモーション事業 ●プラットフォーム企画展開事業 ●ポータルサイト基盤事業 ●事務局・部会等運営 (1-2)広域市町村連携シティブロモーション事業 22,565,000円 (2)地域産業拡大事業 8,150,000円 (3)情報ネットワーク・地域活性化事業 3,500,000円	39,215,000円	19,607,000円	指標①	観光入込数	2,717,000人	2,016,536人	地方創生に非常に効果的であった	事業は適切に実施されている	商工観光課 農林課 政策推進課
						指標②	ポータルプラットフォームへの投稿数	1,080件	2,985件			
						指標③	メディア掲載数	432件	1,449件			
2	デジタルとリアルの高効率併用関係人口創出プロジェクト	関係人口から最終的に移住へと結びつけるため、本市を知ってもらう場・体験してもらうための支援を行い、都市部から人の流れを創出する。 1 メタバース関係人口創出事業 本市を知らない人、興味のない人でも気軽に参加できるようにメタバース上で様々なテーマによるメタバースイベントを開催する。 2 むらやまキャンプ事業 将来的な関係人口の創出やそのきっかけとして、主に高校生や大学生向けに、文化・スポーツ・ゼミ等を通じた地域活性化や課題解決に向けた活動の支援を行う。 3 関係人口拡大PR事業 移住・定住情報や本市のイベント情報を公式SNSで定期的に配信し、本市へ来訪する人の呼び込みや個別の問い合わせ対応を行うため、SNS登録者数の増加を狙い、プッシュ型で強力にPRする。	1 メタバース関係人口創出事業 5,960,000円 2 むらやまキャンプ事業 1,131,815円 3 関係人口拡大PR事業 14,242,459円	21,334,274円	10,667,136円	指標①	メタバースイベント参加者数	100人	9人	地方創生に効果があった	事業は適切に実施されている	生涯学習課 政策推進課
						指標②	キャンプ事業参加者数	50人	66人			
						指標③	情報配信登録者数	150人	109人			
						指標④	SNS等を通じた相談・コンシェルジュ件数	20件	4件			
3	中心市街地のにぎわい創造としごと創出事業	起業創業を考える事業者と中心市街地の空き店舗をマッチングし、すでににぎわいを創出している施設「Link MURAYAMA」と「銀座プラザ」を中心として、市内事業者、新規起業者とともに中心市街地のにぎわいを創出し、様々な業種がつながることで、魅力ある新たな仕事を創出させる。 1 中心市街地雇用創出事業 中心市街地の空き店舗や空き事業所、空き家の調査、所有者との調整を行い、新規起業事業者とのマッチングを実施し、「Link MURAYAMA」「銀座プラザ」を中心として、新しい仕事や雇用の創出を図るとともに、中心市街地の空洞化を解消しにぎわいと活気を取り戻す。 2 Uターン促進事業 市内企業の受注獲得と販路開拓を行い、新しい仕事の創出を図ることにより企業の収益性と魅力アップにつなげる。また、県外学生や、移住希望者に向けた市内企業との就職相談会を開催し若者回帰、Uターンにつなげる。 3 移住・定住促進事業 市内に首都圏等から就職や起業を希望している者を対象に、移住したときの不安を解消するために、試しに移住してもらい、就職、起業につなげることにより、地方にない新たな仕事を創出する。	1. 中心市街地雇用創出事業 5,946,621円 2. Uターン促進事業 3,493,235円 3. 移住・定住促進事業 1,792,749円 【ハード事業】 1. 中心市街地雇用創出事業 1,000,000円	12,232,605円	6,116,301円	指標①	新規雇用者数	28人	14人	地方創生に相当程度効果があった	事業は適切に実施されている	商工観光課 政策推進課
						指標②	企業支援効果額	9,500千円	13,533千円			
						指標③	空き店舗を活用した起業家数	6人	2人			

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	事業の内容	事業費	交付金充当額	本事業における重要業績評価指標（KPI）		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価	事業担当課
						指標		目標値	実績値		
4	デジタルツールを活用した産業活性化事業	デジタルツールを活用し、人材を広く募集し各農作物の繁忙期に労働力を確保する。また、労働力の確保により増産した特産品をECサイトで販売を行うことで、幅広いPRと知名度アップ、収益アップを目指し、稼げる農業、魅力ある農業とし、若者の新規就農に繋げる。 ○地域産業デジタル活用事業 デジタルを活用し、短期労働を考えている人材と人手を必要とする事業者をマッチングし労働力を確保する。そのため、デジタルツール活用の強化に向けた人材の育成を行い、デジタルツールの作成・運営と、受け入れ事業者の発掘、高齢事業者等へのECサイト利用の支援を行う。また、事前に作業動画や風景をオンライン上で公開することで作業内容への不安や抵抗感を解消し効率化を図る。一度申し込みのあった人材とSNSで繋がりをもち、定期的に情報発信を行い継続した労働力の確保に繋げていく。宿泊事業者は、申し込みのあった労働者の宿泊と、受入事業者との日程やシフト等をデジタルを活用し調整を行うほか、宿泊地と就労先となる園地を位置情報アプリを活用した案内の整備を行い、スムーズな受け入れと、無駄を省いた作業環境を整える。 ○デジタルサポート事業 労働力の確保により増産した特産品をECサイトで販売を行うことで、特産品の幅広いPRと消費量増加、知名度アップと同時に事業者の収益アップに繋げる。ECサイトで販売しようとする事業者への導入・操作等のデジタルサポートの実施と、ECサイトが利用困難な高齢事業者等から依頼を受けて、販売やPR、商品管理を行う販売サポートを実施し、すべての事業者が販路を拡大し収益に繋がる仕組みとすることにより、稼げる農業、魅力ある農業を実現し若者の新規就農に繋げる。	1. 地域産業デジタル活用事業 9,585,925円 2. デジタルサポート事業 6,768,937円	16,354,862円	8,177,430円	指標①	地域における農業就労者数	210人	62人	地方創生に非常に効果的であった 事業は適切に実施されている	商工観光課 農林課 政策推進課
		指標②	販路拡大サポート事業者数	10者	20者						
		指標③	ECサイト販売金額	15,000千円	76,733千円						